企業経営にプラスplusするワンポイント情報誌

あきた商工Biz plus

秋田県商工会連合会報
Akita Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry

10 2018 October Vol.537

事業承継は「準備が肝心」商工会は親子での取り組みを支援します

早期に事業承継を進め、子（後継者）へ技術指導を行っている親（事業主）（写真提供：美郷町商工会）

県内事業者においては高齢化が進み、今後より多くの事業者が事業承継をすることが予想されます。後継者が決定又は予定者がいると回答した県内事業者の半数以上（51.7%※1）が５年以内に事業承継をしたいと考えています。

事業承継が進まない理由として、相談相手や手続きが分からない、日々の業務で精一杯などがあげられ先送りになる傾向があります。その結果、後継者が育たない状況や突然の事業主交代によって、事業継続が困難となり、従業員とその家族、地域の顧客にとっても大きな損失になります。

そのような事態にならないためにも、事業承継に向けた早めの準備が肝心であり、計画的に進めることで後継者育成に十分に時間をかけられるなど、円滑な事業承継につながります。

商工会は、巡回相談を通じて事業者の経営状況を把握し、承継の準備から、計画作成・承継後のフォローまで、秋田県事業承継相談センターと連携して事業承継支援に取り組みます。（※1…秋田経済研究所「県内企業の事業承継に関するアンケート調査」より）

事業承継を先送りしていませんか!?

親（事業主）

- まだ未熟な息子に継がせるには早い
- 日々の経営業務で精一杯である
- 誰に相談すればよいのか分からない

先送りすると…

後継者の経営ノウハウ不足

取引先・従業員の信頼を得られない

不測の事態に対応できなくなる

- いずれ継ぐつもりだが、まず何をすればいいのか分からない
- 自分が継いだあとどのような経営をすればいいのか
- そもそも自分に経営していく能力・資質があるのか

子（後継者）

事業承継は、「親子で一緒に」「早めの準備」が肝心です

親子で事業承継をするメリット

- 会社の経営理念や資産、技術等を明確化することで、後継者との共通認識が生まれる
- 会社の所有と経営を一緒に引き継ぐため、実効性の高い事業承継が可能
- 現事業主の存在により、取引先や顧客との関係性を維持できる

早めに準備をすることのメリット

- 自身の技術やノウハウを十分に時間をかけて伝えることができる
- 自社の経営や財務状況を把握することで、中長期の経営計画を作成できる
- 事業承継に伴う、贈与税・相続税への対策（納税猶予など）がとれる

商工会支援事例❶

ネットde記帳による経営指導で最適な承継時期を判断

事業者名 佐金酒店　商工会名 北秋田市商工会

支援担当者 木村 聖二、菊池 フミ子

取組内容と成果

大正11年創業の地元でも老舗の酒屋で、現在は先代の配偶者が事業主を、長男が専従者を務めています。

これまで業務多忙を理由に事業承継を先延ばししてきたが、ネットde記帳による経営指導や専門家派遣によるアドバイスもあり、本格的に事業承継に取り組むこととなりました。

同店ではこの事業承継を機に販売体制の再構築を図り、法人化も検討することとしています。

ポイント

①ネットde記帳を活用した経営状況の把握により、商工会から事業承継のタイミングであるとの提案があった。

②長男が実質的経営を担ってきたことで、ネット販売対応など新たな取組みで業績を好転させている。

③事業承継の際に相続問題の心配がなかったこと。

事業承継支援は商工会にお任せ下さい!!

商工会は日々の経営相談等を通した「相談者との信頼関係」をもとに、親子で取り組む事業承継を準備から承継計画作成・実行支援・承継後のフォローまで一貫したサポートをします。

準　備

- 日常の巡回を通じた事業所の経営状況の把握・後継者候補の把握
- ネットde記帳を活用した財務状況の把握
- 親子で事業承継を考えるきっかけとなるセミナーの開催

事業承継計画 作　成

- 親（事業主）と子（後継者）の双方からヒアリング
- 承継の時期や必要な支援内容、緊急度などについて分析
- 事業承継計画の作成支援

事業承継の 実　行

- 専門家や商工会職員によるチーム支援
- 計画に沿った事業承継の実行支援（関係者の理解、後継者教育、株式・財産の分配など）
- 行政機関等への各種手続き支援

事業承継後の フォロー

- 課題に応じた専門家を派遣し、継続した支援を実施
- 新事業主の経営能力向上のためのセミナーの開催
- 経営者ネットワーク作りの場の提供

商工会支援事例❷

会社の磨き上げを行い、長男への早期承継を目指す

事業者名　みさとマーク株式会社　　商工会名　美郷町商工会

支援担当者　髙橋 美由紀

取組内容と成果

スポーツ用品やユニフォーム、Tシャツなどの刺繍やマーキングなどを手掛ける会社です。

売上減少の懸念や消費者ニーズの多様化に対応すべく、マル経融資制度[*1]活用による設備の導入を行っています。また、補助金を活用しての新サービスの提供で販路開拓・営業力強化、受注戦略の見直しを図るなど4年後の事業承継を目指しております。

ポイント

①仕事の仕方や技術などを設備導入を機に伝承。

②自社株の暦年贈与を計画的に行うことで、社長が60歳以下で相続時精算課税制度[*2]が適用にならないため、有効な節税対策となった。

＊1　商工会などの経営指導を受けている小規模事業者の商工業者が、経営改善に必要な資金を無担保・無保証人で利用できる制度。利用にあたっては商工会会長の推薦が必要。

＊2　60歳以上の父母又は祖父母から、20歳以上の子又は孫に対し、財産を贈与した場合において選択できる贈与税の制度。

Biz plus 掲示板

「商工会創生プラン推進フォーラム」事業承継をテーマに議論

8月28日（火）に秋田ビューホテルにおいて、事業承継に関して体験談に基づく具体的な意見が交わされ、来場者に対して「準備が肝心」であることをアピールする場となりました。（※来場者約240名）

社長

- ▶前社長（現会長）が元気なうちに早期に事業承継に取り組んだことで、社長になった現在も継続してアドバイスを受けることが出来ている。
- ▶早期に社長業を引き継いだことで、同業者や取引先との密接な人脈を構築できている。

息子（後継者）

- ▶現段階ではまだ準備不足である。本日の体験談を聞き、早期の準備が肝心であることを認識した。
- ▶商工会や青年部主催の事業承継セミナーに積極的に参加し、事業承継計画書の策定から着手したい。

役員（事業主の妻）

- ▶商工会が主催するセミナーを通じて、後継者に対して経営者になるための勉強の場を提供したい。
- ▶商工会からの専門家派遣等を活用し、事業承継計画作成や経営者としての意識の醸成を図りたい。

活発な意見が交わされたパネルディスカッションの様子

ポイント

- ▶早期着手により、親子で一緒に経営を考えることができる
- ▶青年部活動などを通じた後継者同士の情報交換
- ▶経営者になるための自覚（教育）が重要

県の融資制度「事業承継資金（新事業展開資金）」

事業の全部又は一部を取りやめる事業者から、事業の譲渡を受けて当該事業を行う事業者で、商工会の推薦を受けた方が融資制度を利用できます。

1　事業承継時の設備及び運転資金として借入できます

2　長期間（10年うち据置3年）でのご返済が可能です

3　保証人は、個人事業主は不要、法人は代表者

貸付限度額　1億円

貸 付 期 間　10年以内（据置期間3年以内）

年　利　率　1.50%　ただし、以下に該当する場合は1.30%

- ●秋田県事業引継ぎ支援センター又は認定経営革新等支援機関から事業承継に係る支援を受けている方
- ●知事が認める後継者育成塾等の修了者

保 証 料 率　0.60%以下

詳細については、最寄りの商工会までお問合せください。

広告

万が一の時に備え、従業員やご家族を守ります

貯蓄 商工貯蓄共済 保障 融資 3つの特徴

月々2,000円から

全国商工会会員福祉共済 秋田県版

月々1,000円から

VEGETABLE OIL INK ※この紙は再生紙を使用しています。

発行所／秋田県商工会連合会　〒010-0923 秋田市旭北錦町１番47号秋田県商工会館内　電話／018－863－8491㈹

購読料／１部10円（会費に含む）毎月１日発行　発行日／平成30年10月1日

（昭和45年12月３日第３種郵便物認可）